

常磐小学校の再編方針についての説明会 結果概要
(就学児保護者・未就学児保護者対象)

- 開催日：令和5年6月21日（水）午後7時2分～7時56分
- 場 所：越前町生涯学習センター
- 参加者：就学児保護者11名・未就学児保護者4名 合計15名
- 内 容：常磐小学校の再編方針案について

主な意見と回答

(参加者) 子どもがちょうど再編の時期と重なり過酷な状況になるが、個人的にはこの案で良いと思う。
学用品などの補助は極力行う方向でいるのか。

- ⇒ (教委) 再編準備委員会での検討になるが、負担のないよう補助する方向で前向きに進めたい。
- ⇒ (参加者) 特に何もなければこの案で進めることになるのか。
- ⇒ (教委) 今後、この案で説明していきたい。

(参加者) 糸生地区からは何も言われぬのか。

- ⇒ (教委) 糸生小との3校同時再編の協議には、相当の時間を要する。その間、常磐小の時期が未確定になることは、糸生地区の方も認識していると感じている。

(参加者) これまでの議論の積み重ねの中で、糸生小との3校同時再編の案も示された。糸生小からも同じ声が上がっていた中で、糸生地区から意見を聞かずに、常磐小だけでまとめてしまうのはそれで良いのか。また、再編準備委員会での調整期間も、一般的に2年程度必要と説明を受けてきたが、1年半程度で出来るのか。

- ⇒ (教委) 仮に令和9年に3校同時再編となった場合、常磐小は令和9年まで待たなければならない。その間、指定校変更を望む保護者を尊重すると、在校生はかなり減ってしまうと考えられる。教育委員会として、皆で閉校式を行うことが望ましいと考え、このような案とさせて頂いた。再編準備委員会の期間については、各学校長と保護者の不安点も含め日程的な調整を行った。学校の協力を得ながら遅滞なく進めていきたい。

(参加者) 令和6年度から指定校変更は開始されるのか。

- ⇒ (教委) 令和11年度での再編であるならば指定校変更は必要と考えている意味であり、令和7年度の再編であれば指定校変更はないということになる。
- ⇒ (参加者) 来年から常磐小へ行かなければならないのか。
- ⇒ (教委) 再編を理由とした指定校変更は出来ないが、従来の事情で行くことは出来る。

(参加者) 準備委員会が設置されると保護者代表が参加することになると思う。来年度、常磐小は町 PTA 連合会の丹南ブロック長に充てられる。準備委員会を優先したいので、調整できないものか。

⇒ (教委) 教育委員会の判断で行うことは出来ないが、各学校の PTA 会長と話をすることは出来る。

(参加者) 常磐小の修学旅行は、2年に1度、5年生と6年生が一緒に行っている。現在5年生が1人なので、令和6年度に現在の4年生が行かなかった場合、1人で行かなければならない。このような問題はどのようにするのか。

⇒ (教委) 今ここで結論は言えないが、そのような問題も全て解決して再編ということになる。準備委員会での意見も聞きながら、子どもたちにとって悪いようにならないよう進めさせていただく。

(参加者) この1年間、色々な意見を聞こうとした姿勢はありがたかったが、結果方針が2転、3転したことは事実である。将来糸生地区でも同じような話になると思うので、地域と溝が出来るような進め方は控えていただきたい。糸生地区の人たちも再編の話を待っているかもしれないので、糸生地区の考え方も把握する必要があるのではないか。

今まで、様々な地区の懇談会などで、学校再編の話だけではなく地域づくりの意見も出ていたと思う。町長のリーダーシップの下、他の部局と連携して進めなければならないが、町長にどのように報告して具体的な進展があったのか知りたい。

⇒ (教委) これまで沢山の意見をお聞きしたことが、返ってご迷惑をおかけし申し訳ない。色々意見もあると思うが、子どもたちのことを考え、皆で一緒に移行して頂きたいと思い今回の案を示させてもらった。ご理解頂けるのであれば十分間に合うよう進めていけると考えている。

常磐地区をどう盛り上げていくかは行政だけでは難しいので、地域の考えや熱意は重要となってくる。学校再編をまちづくりのきっかけとしたいので、跡地活用の検討委員会が立ち上がった際にはお知恵を貸して頂きたい。

(教委) 今日は保護者の皆様にお集まり頂いたが、今回お示した案でご理解を頂いたと考えてよろしいか。

(教委) 今後、区長をはじめ地域の方々にお話しさせて頂きたいと思う。一定のご理解が頂けるのであれば、再編準備委員会を設置し、スムーズな学校再編が出来るよう取り組みたいので、よろしくお願ひしたい。